

名張川河川改修についての提言(意見)

木津川上流域に位置します「名張市」は、名張川・青連寺川・宇陀川が旧市街地で合流し、名張川として市街地を貫流する清らかな水と豊かな緑に恵まれた美しい自然都市であり累年の住宅開発により京阪神方面からの転入が進み現在85,000人余の伊賀地域最大の街になっており、まちづくりの基本理念を「居心地のよいふるさとづくり」として快適生活都市を目指しているところであります。

当市にとって、過去幾多の水害により被害が発生しており伊勢湾台風時には未曾有の大災害となり、名張川の河川改修の早期完成は住民の積年の願望であります。比奈知ダム建設時までの改修事業の完了目標をも掲げて順次改修事業を継続してもらっていますが、完成までには相当の期間をまだ要するものと考えられ、市街地を貫流することから局地的集中豪雨等の河川災害が危惧されますので、人命財産の保持から何よりも河川の早期改修が急務であります。

河川改修完了区間の河川区間につきましては、それぞれのまちが「まちづくり協議会」等を結成して河川と共にした様々なまちづくり運動を展開しつつあり、工事施工にあたっては河川改修本来の目標にとどまらず、住民が親しみをもつことができる施設（例えば、河川に擬石や河床掘削される岩で「中洲」等を設け市民のコミュニティ広場とした、川に親しみ水遊びや魚釣りができるような「憩の場」とか）として対応をお願いします。